

癌化学療法輸液約束処方 急性前骨髄球性白血病

癌種 急性骨髄性白血病・骨髄異型性症候群

レジメン名 APL3 GIMEMA-AIDA2000

【寛解導入】

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
ベサノイド	トレチノイン	ATRA	45 mg/m ²	p o	朝・昼・夕 食後	DAY 1-	CRまで
イダマイシン	イダルビシン	IDA	12mg/m ²	div	30分	DAY 2,4,6,8	

【DAY 2,4,6,8】Div

- ① NS 50 ml + グラニセトロン 1A / 全開
- ② NS 100 ml + イダマイシン mg / 30分
- ③ NS 50 ml / 全開

<イダマイシン投与時の注意>

調製時:注射水で溶解。21G又はそれより細い針を使用すること(コアリングし易い)。

本剤の総投与量は、120mg/m²を超えてはならない

(他のアントラサイクリン系薬剤による前治療のある場合は、それまでのダウノルビシン、又はドキソルビシンの用量の1/4が加算される)。[ドイツ]

本剤の尿中排泄により尿が赤色になることがある。血管外漏出、心毒性注意。

【地固め①】

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
ベサノイド	トレチノイン	ATRA	45 mg/m ²	p o	朝・昼・夕 食後	DAY 1-15	
イダマイシン	イダルビシン	IDA	12mg/m ²	div	30分	DAY 1,2,3,4	

<ベサノイド服用時の注意>

催奇形性あり:投与開始前の少なくとも1ヵ月間、投与中及び投与中止後少なくとも1ヵ月間は必ず避妊させること。妊婦は禁忌。月経4日目以後に開始。

白血球増多症:末梢白血球数が30,000/mm³を超えた場合、減量又は休薬。

副作用:レチノイン症候群、過骨症・骨端の早期閉鎖、肝障害、血栓症、TENなど
16週間投与して寛解に到達しない場合には、投与を中止する。

【DAY 1,2,3,4】Div

- ① NS 50 ml + グラニセトロン 1A / 全開
- ② NS 100 ml + イダマイシン mg / 30分
- ③ NS 50 ml / 全開

【地固め②③④】

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
ベサノイド	トレチノイン	ATRA	45 mg/m ²	p o	朝・昼・夕 食後	DAY 1-15	
ノバントロン	ミキサントロン	MTZ	10mg/m ²	div	30分	DAY 1,2,3,4,5	

【DAY 1,2,3,4,5】Div

- ① NS 50 ml + グラニセトロン 1A / 全開
- ② NS 100 ml + ノバントロン mg / 30分
- ③ NS 50 ml / 全開

<ノバントロン投与時の注意>

本剤の投与により皮膚や強膜が一過性に青色を呈したり、尿が青～緑色になることが

あるので、あらかじめ患者に説明しておくこと。

本剤が目や皮膚に付着した場合には直ちに水道水で洗い流すこと

【地固め⑤】

薬品名(商品名)	一般名	略号	標準投与量	投与経路	投与時間	投与日	1クール期間
ベサノイド	トレチノイン	ATRA	45 mg/m ²	p o	朝・昼・夕 食後	DAY 1-15	
イダマイシン	イダルビシン	IDA	12mg/m ²	div	30分	DAY 1	

【DAY 1】Div

- ① NS 50 ml + グラニセトロン 1A / 全開
- ② NS 100 ml + イダマイシン mg / 30分
- ③ NS 50 ml / 全開